

1. 略歴

1984年3月	お茶の水女子大学文教育学部哲学科 卒業（倫理学専攻）
1984年4月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程入学（倫理学専門課程）
1986年3月	同 修了
1986年4月	東京大学大学院人文科学研究科博士課程進学（倫理学専門課程）
1991年3月	同 単位取得退学
1991年4月	山口大学人文学部日本思想史学講座専任講師
1994年3月	東京大学大学院人文科学研究科において博士号（文学）を取得
1995年7月	山口大学人文学部日本思想史学助教授
1996年4月	お茶の水女子大学文教育学部哲学助教授（倫理学専攻）
2007年4月	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授（比較社会文化学専攻思想文化学コース） （改組に伴う配置換え）
2011年1月	同 教授
2013年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

倫理学原理論・日本倫理思想史・比較思想

b 研究課題

日本思想の倫理的考察

c 概要と自己評価

倫理学の中心問題である「何をなすべきか」という行為に対する問いを、その基盤となる「人は何であるのか」「世界は何であるのか」という存在の問いにまで遡って考えることを目指す。研究方法としては、日本語で書かれたテキストの思想構造を解明することを通じて、その世界観、人間観を検討するとともに、背後にあるコンテキストも探る。具体的には、道元、法然、親鸞、日蓮、盤珪、白隠などの日本仏教の思想を中心として、日本思想を幅広く扱っている。特に、和辻哲郎の倫理学、倫理思想史の方法について検討し、「間柄の倫理学」には収まらない超越との関係という側面から、新たな日本倫理思想史の構築を目指す。なお、和辻倫理学の対抗軸として、現在、日本民俗学の諸思想家（柳田國男、折口信夫など）を検討中である。これまでの研究は、個別思想家についてを中心としてきたが、今後は、それらを踏まえて新たな日本倫理思想史の構築に関する研究の比重を増やす予定である。

d 主要業績

(1) 著書

単著、頼住光子、『さとりと日本人』、ふねうま舎、2017.2

共著、頼住光子、末木文美土、大谷栄一、『日本仏教を捉え直す』、放送大学教育振興会、2018.3

(2) 論文

Mitsuko YORIZUMI, “Some Aspects of Watsuji Tetsurō’s Ethics of Aidagara (Betweenness): On the Formation of His Ethics from the Viewpoint of His Ideas on Form and the Flow of Life”, 『倫理学紀要』、第23輯、pp.1-14、2016.3

頼住光子、「比較思想の方法論に関する一考察」、『比較思想研究』、第42号、pp.68-73、2016.3

頼住光子、「和について」、『東アジアの共通善 一和・通・仁の現代的再創造をめざして―』、pp.65-78、2017.3

頼住光子、「日本思想における「和」―「和を以て貴しとなす」と「敬静寂」をてがかりにして」、『東アジアの共通善 一和・通・仁の現代的再創造をめざして―』、pp.79-93、2017.3

頼住光子、「日本における仏教と儒教との関係についての一考察」、『倫理学紀要』、第24輯、pp.176-225、2017.3

頼住光子、「和辻哲郎の思想根基：「型態」與「流動」」、『日本倫理観與儒家傳統』東亜儒學研究叢書25、pp.205-233、2017.4

頼住光子、「道元における「さとり」の世界とその表現 『正法眼藏』「梅華」巻註解の試み」、『倫理学紀要』、第25輯、pp.134-183、2018.3

(3) 書評

- 伊東俊太郎、「インドにおける「精神革命」——ゴータマ・ブッダを中心として」、『比較思想研究』、第42号、pp.146-147、2016.3
- 藤田正勝、『思想間の対話 東アジアにおける哲学受容と展開』、『比較思想研究』、第42号、pp.149-150、2016.3
- 河波昌、『真茶——茶道における人間形成』、『比較思想研究』、第42号、pp.156-157、2016.3

(4) 学会発表

- 国内、頼住光子、『『正法眼蔵』「摩訶般若波羅蜜」巻について』、曹洞宗遊行会、2016.2.19
- 国際、頼住光子、「日本的儒教與佛教關係」（日本における儒教と仏教の關係について）、灣大學人文社會高等研究院 東亞視域中的儒佛論爭與會通 國際學術研討會、2016.4.27
- 国内、頼住光子、「鈴木大拙の人と思想～禅と浄土」、道心会、善光寺大本願、2016.6.25
- 国内、頼住光子、「道元の仏性思想」、曹洞宗遊行会第27回布教研修会、長泉寺、2016.8.29
- 国内、頼住光子、『『正法眼蔵』「現成公案」巻の思想』、曹洞宗福岡宗務所研修会、曹洞宗福岡宗務所、2017.3.1
- 国内、頼住光子、「日本思想における「和」について」、天台宗埼玉教区・布教師会主催研修会、喜多院齋靈殿、2017.3.14
- 国内、頼住光子、『『正法眼蔵』「現成公案」巻の思想』、京都大学「道元の思想圏」研究会、京都大学、2017.3.27
- 国内、頼住光子、「「和」の思想について」、道心会、善光寺大本願、2017.6.24
- 国内、頼住光子、「真理を求めた女性たち——仏教と女性」、企画展開連イベント、女性研究者対談『研究者としてのキャリア』、石川県西田幾多郎記念哲学館、2017.7.2
- 国際、頼住光子、「日本における比較の方法について」、「全球化下的日本哲学：從東亞到世界」國際學術研討會、臺灣師範大學、2017.7.29
- 国内、頼住光子、『『正法眼蔵』現成公案の思想』、北信越管区教化センター布教研修会、大本山総持寺祖院、2017.9.27
- 国内、頼住光子、『『正法眼蔵』における修証の思想』、北信越管区教化センター布教研修会、大本山総持寺祖院、2017.9.27
- 国内、頼住光子、『『正法眼蔵』の世界——『正法眼蔵』「梅華」巻を読む——』、川崎市市民アカデミー、2017.11.13

(5) 会議主催(チェア他)

- 国内、「日本倫理学会共通課題シンポジウム」、チェア、早稲田大学、2016.10.2
- 国内、「倫理想史研究会」、主催、東京大学文学部、2017.3.30
- 国際、「日本神話における主体性」(科研費基盤研究B 家族・経済・超越)研究会、主催、東京大学文学部、2017.10.22

(6) 教科書

- 『改訂版 現代の倫理』、頼住光子、編集委員、山川出版社、2017

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

- 特別講演、朝日カルチャーセンター新宿教室、「聖徳太子の仏教思想」、2016.7
- 特別講演、足立区生涯学習センター放送大学連携講座、「日本文化と仏教」、2017.1
- 特別講演、朝日カルチャーセンター新宿教室、「宮澤賢治と仏教思想」、2017.2
- 非常勤講師、上智大学、「仏教思想」、2017.4～
- 非常勤講師、慶応大学、「日本思想1, 2」、2017.4～
- セミナー、次世代経営リーダー研修、「道元から見る日本の思想」、2017.8
- 特別講演、朝日カルチャーセンター新宿教室、「運慶と鎌倉仏教」、2017.11

(2) 学会

- 国内、日本倫理学会、評議員、2016.4～2019.3、常任評議員、2017.4～2019.3
- 国内、日本思想史学会、総務委員、2016.4～2018.3
- 国内、比較思想学会、理事、総務委員、学術雑誌編集委員長代理、2016.4～2017.3、会長、2017.4～2018.3
- 国内、日本仏教総合研究学会、評議員、2016.4～2017.3、理事、2017.4～2018.3
- 国内、実存思想協会、編集委員、理事、2016.4～2018.3

(3) 行政

- 文部科学省、教育政策、科学官、2016.4～2020.3

(4) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

- 教育機関、九州大学、外部評価委員、2017.10～2018.3